

「道徳のまち・寄居」を目指して



寄居町青少年健全育成町民会議
会長 神岡 高秋

本会では昨年度から、教育委員会と共同で「道徳」に関する事業を行っています。平成30年度から31年度にかけて、全国の小・中学校の道徳教育が「特別の教科 道徳」として大きく変わることもあり、私たちはこの道徳教育の転換期に、町の児童・生徒と保護者、そして地域の皆さんと共に、道徳について考え、自身の在り方を見つめ直す機会を設けようと「道徳講演会・実践発表会」の実施を始めました。

児童・生徒の道徳的行動の発表を聞くと、本当に素直に思いやりを持って人と接しようという気持ちが出来てきました。また、保護者の発表からは、子どもたちに自身の思いや経験を伝えようという温かい意思を感じました。

子どもたちは社会の一員であり、私たち大人は子どもたちの見本です。子どもは大人が思っている以上に社会の一員として悩み、大人のことをよく見ていると思います。そのことを再認識し、一人一人が日々の生活の中で思いやりのある行動をとることで「道徳のまち・寄居」とよばれるような、地域で子どもたちの心を育む町になることを願っています。

私たちの活動は、すぐに大きな成果を挙げられるものではないかもしれませんが、日々の小さな積み重ねが子どもたちの健やかな成長の一助となり、「生きる力」を育てているのではないかと感じています。そしてこれからも、学校や家庭だけでなく、地域の方々も一体となった健全育成活動となることを目指していきます。



7月に実施した非行・被害防止キャンペーンの様子

10年間を振り返って



男衾地区青少年健全育成協議会
会長 吉田 芳雄

「少しでも地域の役に立てたら」という思いで会長を引き受け、10年がたちました。1、2年が過ぎたころから、多くの方々との出会いと、子どものために活動できる喜びにやりがいを感じるようになりました。

児童・生徒が郷土男衾を愛し、誇りと自信を持って前に進んでほしい。そんな願いから、男衾の郷土かるたを小・中学校全員で作りたいと強く思い、3年かけて完成させました。札の制作に推敲を重ねたことで、地域の新たな発見にも結びつきました。心豊かな教材として今も活用しています。

地域のご協力が原動力となり実施できているのが防犯パトロールです。課題は学校・家庭・地域の協力体制と一人一人の意識の高揚です。大事なことはお互いの尊重にあり、丁寧に粘り強く呼び掛けて、次第に参加者も多くなりました。人の輪の広がり活動の積み重ねが、安全で良い環境を作ります。多くの方のご協力のおかげで、児童から心の込められたお手紙や自分たちで育てたお花までいただき、とても心が温かくなりました。

また、会員の学習機会となる教育講演会を実施してきました。参加者からの「よい話が聞けて楽しかった」等のお言葉に励まされ、10年間で参加者は延べ1,300人近くになりました。

地域の皆さんの温かいご協力のおかげでここまでやってこられました。心より感謝申し上げます。健全育成は、未来ある青少年への温かい励ましと心豊かな成長の見守りです。地域の皆さんが心をつなぎ協力し、継続することに真の意味があるのではないのでしょうか。



男衾小に設置された男衾郷土かるたの看板

青少年の非行・被害防止 特別強調月間キャンペーン(7月)
町内3中学校区の健全育成協議会と共に町内の駅前等でキャンペーン活動を行い、延べ115人が参加しました。今年度は、特にインターネット利用に係る犯罪被害等の防止に重点をおいて、青少年の非行・被害の防止を呼び掛けました。

平成30年度活動報告

寄居町青少年健全育成町民会議 (神岡高秋会長) では、青少年健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やPTA、民生委員・児童委員などの青少年関係団体・機関と連携し、活動を展開しています。年間の活動報告や昨年度から実施している道徳講演会・実践発表会の様子をご紹介します。
☎581・2121内線532

スクラムを組んで！
寄居町青少年健全育成町民会議

道徳講演会(8月)

講師に聖徳大学大学院の吉本恒幸先生をお招きして「今、道徳教育が大切にすること」という演題で、道徳教育の変遷やこれからの道徳教育の在り方等について講演していただきました。

視察研修(10月)

上尾市の自立支援施設埼玉学園へ伺い、さまざまな理由で生活指導等を要する児童の自立を支援する全寮制の施設を視察しました。児童に対する教育理念や支援方法などを学び、充実した研修となりました。

道徳講演会・実践発表会(1月)

講師に高崎健康福祉大学特任教授で埼玉県道徳教育研究会委員の石川勉先生をお招きして「道徳って何？―僕たち私たちが考えるこれからの寄居町―」という演題で、講演していただきました。また、町内小・中学生や保護者の道徳的行動の実践発表会を行い、310人が参加しました。

道徳講演会・実践発表会を開催しました！

1月23日に中央公民館ホールで「寄居町青少年健全育成町民会議道徳講演会・実践発表会」を開催しました。この講演会・発表会は「道徳のまち・寄居」を目指し、心のつながりを大切にした地域づくりを行うために、昨年度から開催している事業です。

道徳講演会

石川先生は、吉野弘氏の詩集を取り上げ、電車で席を譲れず自分を責める登場人物にどう声をかけようか生徒同士で話し合っていました。そして「大切なのは席を譲ったかどうかではなく、譲らなくちゃいけないかなと考えられることです。寄居町の小・中学生の皆さん、明日を担う心豊かな人になってください」と話していただきました。

実践発表会

児童・生徒は社会の一員として、保護者は子どもの見本としての自身の在り方について目標を立て、これまで実践してきた成果について発表しました。「一日一善を心がける」という目標を立てた生徒は、ある日レジで親子に順番を譲ったところ、とても感謝され温かい気持ちになったと発表してくれました。保護者の1人は「相手に伝わる



小学生による実践発表



石川先生による道徳講演

あいさつをする」という目標を立てました。あいさつはコミュニケーションの第一歩であり、あいさつによつては相手を愉快にも不快にもさせるため、子どもたちの手本となるように、気を付けていきたいと発表してくれました。